

まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や
楽しい話題、イベントなどの身近な
情報をお待ちしています。

▷ 問い合わせ 広報情報係
(☎223・3569)



さわやかな五月晴れ～！元気に^{ちょきん}貯筋！

5月28日 芦屋町老人クラブ連合会

初夏のさわやかな日、アッシーグラウンドで老人クラブ連合会が主催するウォーキング大会が行われました。新型コロナのワクチン接種も進んで感染者も少なくなり、久し振りに晴れ晴れとした気持ちでウォーキングを楽しむことができました。参加者は腕を大きく振り、歩幅もいつもより広げて歩き、全身の筋肉を使って、体に元気を取り込んでいました。

芦屋は化石の宝庫！さあ、探検だ！

5月29日 親子で化石探検

芦屋町には、貝や有孔虫などの化石が豊富に存在する約3000万年前の地層があります。この地層は山口県西部から福岡県北部の海岸沿いに広く分布していて、その名も「芦屋層群」。探検場所は柏原海岸の洞山付近。石をハンマーで割って貝などの化石を見つけます。化石の中には芦屋の名前が付けられた貝「アシヤキララガイ」などがあるそうです。みんな見つけれられたかな。



子どもたちの元気な笑顔がいっぱい！

6月4日 キッズスポーツフェスタ

3年ぶりにキッズスポーツフェスタが行われ、町内の子どもたち74人が参加しました。屋外では初開催で、会場となった総合運動公園グラウンドには、うれしそうな声とパワーいっぱいの姿がみられました。





選挙管理委員として多年にわたり貢献

5月31日 瑞宝双光章受章

6期24年（平成9年～令和3年）にわたり芦屋町選挙管理委員会に在席された山崎八江子さん（正門町）が、瑞宝双光章を受章されました。山崎さんは、40年間小学校教育の発展に貢献した功績が認められ芦屋町選挙管理委員に就任しました。平成29年からの4年間は委員長として町選挙管理事務の発展に尽力し、多大な貢献を果たしました。

今一度、人権・同和教育の基礎から学ぶことの大切さ

5月30日 人権・同和教育研修会

令和4年度に芦屋町に赴任した教職員や学校、行政関係者などを対象に人権・同和教育研修会を行い、32人が参加しました。研修会では、北九州教育事務所 河津指導主事の講話「福岡県の人権教育の現状と課題」と部落解放同盟芦屋支部 橋本支部長の講話「部落差別についての芦屋町の現状」を聞いたり、映画「みんなで考える部落の歴史～つくられた身分制度～」を視聴したりして、差別の現状をあらためて考え、被差別部落が為政者によってつくられたものであることを再認識しました。



漂着ごみを集めてみると 2350 kgにも！

6月12日 ラブアースクリーンアップ2022

芦屋・柏原海岸や遠賀川河川敷などに漂着したごみなどを回収する、ラブアースクリーンアップが行われ、町民966人が参加しました。この活動は30年前に福岡市で始まり、全国で行われるようになった一斉清掃です。ごみを拾うことで地球環境の改善はもちろん、ごみを捨てない意識も高めようと、住民、企業、自治体が一体となって活動しています。

お米がたくさん実りますように。田植えを初体験

6月6日 町内3小学校稲作体験

小学5年生の田植え体験が山鹿の田んぼで行われました。これは、日本人が工夫してきた稲作の歴史や食文化を知り、勤労の尊さを学ぶため毎年行われています。指導はJA北九青年部（芦屋支所）の皆さんです。苗を3本束ね、土に深く植えることなどを教えていました。参加した児童は「田んぼに入ると足が重くなったり、植えるのに工夫したりして田植えの大変さが分かりました。でもみんなで頑張れてよかったです」と話していました。

